科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
工業「建築計画」	建築計画 (実教出版)	2 単位	建築科・第2学年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標

- 1 建築計画に関する各種建築物の基礎的な知識や建築法規との関連を理解する。
- 2 建築物を安全・快適かつ合理的に設計する能力を身に付ける。

2 学習計画等

	1 H N M 4			
学期	学 習 内 容	月	学習のねらい	考査
1 学	1 各種建築物の計画 (1) 集合住宅 ア 全体計画 イ 各部の計画 ウ 避難・消防計画 (2) 事務所 ア 全体計画 イ 各部の計画 ウ 防災・避難計画	4	・集合住宅の目的や種類、使われ方のほか、敷地・配置・平面などの各計画に当たっての都市計画とのかかわりなどの留意事項を理解させる。 ・住戸を構成する各室の形式・形態・適正な規模などを示し、階段の場所、2方向避難、耐火構造などの集合住宅の計画方法について理解させる。・事務所の目的や種類、使われ方、その計画上の特質について理解する。	中間
		5		間
		6		期末
		7	・事務所を構成する各室の形状や適正な規模など、 各室の計画の方法を理解する。	末
2 学期	(3) 小学校 ア 全体計画 イ 各部の計画 ウ 防災・避難計画 2 都市と地域の計画 (1) 都市計画の概要 (2) 都市計画の進め方 (3) 住宅地の計画	8	・小学校の目的や種類、使われ方、校地・配置・	
		9	平面などの各計画を理解させる。 ・小学校の各室の形式や適正規模を示し、小学校	中間
		10	の計画の方法を理解させる。 ・都市のもつ機能や役割を示し、都市計画や地域	
		11	計画の重要性・関連性を理解する。 ・都市計画の立案過程や開発手法の基本的な事項	期
		12	を理解する。	末
	3 建築設備の計画	1	・建築設備の目的・内容や設備計画を行うにあたっての基本的な事項を学習し、設備計画の重要性	
3 学 期	(1) 建築設備の概要(2) 給排水・衛生設備(3) 空気調和・換気設備(4) 電気・防災・搬送設備	2	を理解する。 ・給排水、衛生設備や浄化槽のなどについて理解	学年末
		3	する。 ・危険物取扱者試験と関連して学ぶ。	木

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	・各種建築物の用途に応じた計画 を理解している。また、用途ごと に必要な設備を的確に表現する技 術を身に付けている。	・各種建築物の平面プランや立面、 断面計画等について、理論的に広 い視野で理解し、各種建築物の設 計課題を解決する力を身に付けて いる。	・安全で快適な建築物を計画する 力の向上を目指して自ら学び、建 築の発展に主体的かつ協働的に取 り組む態度を身に付けている。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期考査に加えて、平常の学習 活動、ノート・プリント・課題な どの提出物、授業中の小テストな どで評価します	ワークシート、話合い、論述、 発表、各種建築物の設計課題など で評価します。	ワークシート、グループワーク、 発表、設計課題などで評価します。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

- ・建築計画は、建築設計の基礎知識となる大切な科目です。プランニングなどで各種建築物に興味を持ち、製図などの科目と関連させて、意欲的に学習することによって自分の設計意図がしっかりと反映されるようになります。
- ・家庭学習においては課題等により、常に問題意識や探求心を持つことが大切です。疑問点を自分から進んで調べ、考察する意欲や態度が専門性を高めてくれます。